

ごあいさつ

「びょういんあーとぶろじえくと」は、病院にアートがあることで病院にかかわる多くのかたに、安らぎや心のゆとりを持って過ごしていただきたいと願い行ってきた活動です。

7年目、第8回展となった本企画は、美術家、上嶋秀俊氏の作品群“silent breath”を、待合室全面に飾らせていただいています。

作家の息遣いと手のぬくもりが、はりつめた空気を和らかに。ふと、さいなまれる不安感や孤独感を、自然の中にある植物や水、光の内に、小さく聴くことができますように。

医療の場が、表現の場としてありうるということ。

生ききる人のために、“アートが医療にできること”という命題についてを、あらためて、皆さんと考えさせていただければ幸いです。

2014年8月吉日

びょういんあーとぶろじえくとスタッフ一同

スタッフ：上嶋秀俊 柴田紀恵 日野間尋子
デザイン：井上始子

Profile

びょういんあーとぶろじえくと代表 日野間 尋子

1962年、北海道旭川市生まれ。1986年より個展、グループ展(札幌、東京)など多数。2000から2006年まで、ドイツ、オーストリアのギャラリーと契約、アートプロジェクトに参加。芸術療法士(音楽/美術)との共同制作を通して、臨床での“アートとケア”“アートと医療”それぞれの接点を求めるようになる。2008年、友人らと‘びょういんあーとぶろじえくと’を立上げる。現在、病院(精神科)と知的障がい者支援施設で創作支援を担当。日本美術家連盟会員。日本臨床美術協会(臨床美術士)。日本園芸療法普及協会(園芸療法士)。



びょういんあーとぶろじえくと

silent breath

上嶋 秀俊 展

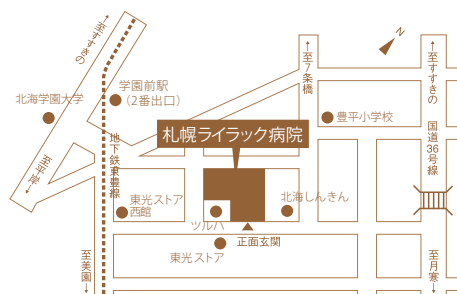
2014年9月1日(月)～2015年3月31日(火)

12:00～18:00

011-812-8822

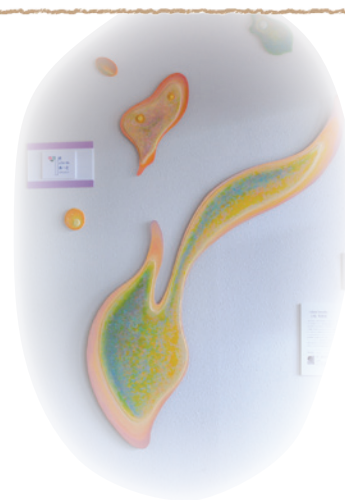
<http://www.lilac.or.jp>

会場 札幌ライラック病院 1F 待合室
札幌市豊平区豊平6条8丁目2番18号
主催 びょういんあーとぶろじえくと
共催 医療法人北志会 札幌ライラック病院
後援 札幌市、札幌市教育委員会
NPO法人市民と共に創るホスピスケアの会



地下鉄 東豊線「学園前駅」下車2番出口より徒歩2分

びょういんあーとぶろじえくと関連イベントは
順次ホームページでお知らせします。
<http://www.hinoma.com/hospitalart/>



「びょういんあーとぶろじえくと」は、殺風景になりがちな療養環境に吹き込む「ひとけ」の風。それによって、患者のみならず医療スタッフの心にも、ゆとりがうまれるはずです。

経済成長の時代は、豪華客船に乗って旅をするようなものでした。お金さえあれば、至れり尽くせりの社会サー

ビスが受けられたのです。その原資が怪しくなってきた今、わたしたちの乗る船は、レガッタのようなものになるかもしれません。みんなで声をかけあい力をあわせて、スローな旅を楽しむのです。

そのためには、一人ひとりが潜在的に有している個性や技能を発揮し、社会を支えあっていくことが大切です。それを楽しみに変えることで、生きる意義を感じ取れるはずです。

人の歴史とともにあったアートは、時に宗教に取り込まれたり、貴族のなぐさみものになったりしながら、生きながらえてきました。

今、人に生きる喜びを実感させる、というアート本来の役割を発揮する時がやってきたようです。それを病院で実践し、アートの力を示していく「びょういんあーとぶろじえくと」に期待します。

“ひとけ”の風としてのアート

蓮見考

札幌市立大学(理事長・学長)

